

武蔵野市の ごみ問題について

令和6年度第1回
第9期廃棄物に関する市民会議
令和6年3月 ごみ総合対策課

AGENDA

- 1 ごみ処理計画の整理
- 2 ごみ処理の現状について
- 3 ごみ処理の課題について
- 4 今後の施策展開

AGENDA

- 1 ごみ処理計画の整理
- 2 ごみ処理の現状について
- 3 ごみ処理の課題について
- 4 今後の施策展開

基本理念と基本方針は第8期ごみ市民会議の委員によって策定された

武蔵野市第六期長期計画・調整計画

相互に連動

武蔵野市 一般廃棄物 処理基本計画

(令和5年度～
令和14年度)

基本理念

ごみゼロを目指して 持続可能なまち「むさしの」へ
～身近なことからみんなで一歩ずつ～

基本方針

1. リデュース・リユース・リサイクル（3R）の推進
2. 市民・市民団体、事業者、行政の連携
3. 安全・安心で安定したごみ処理の運営

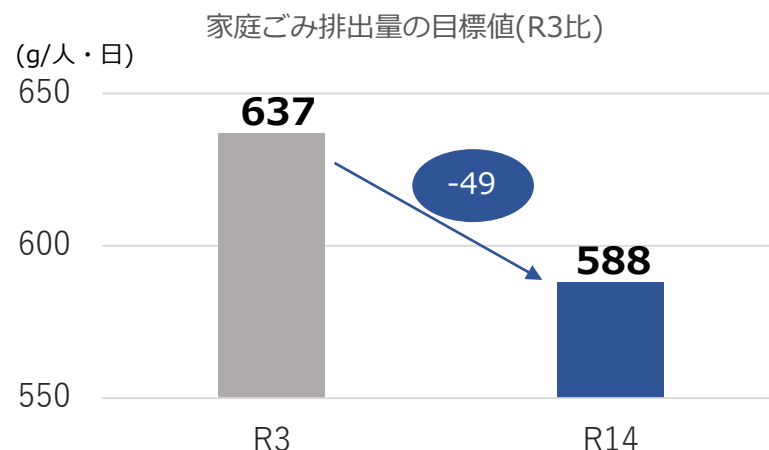
令和5～14年度の計画目標は、コロナの影響を考慮に入れて設定した。

大目標

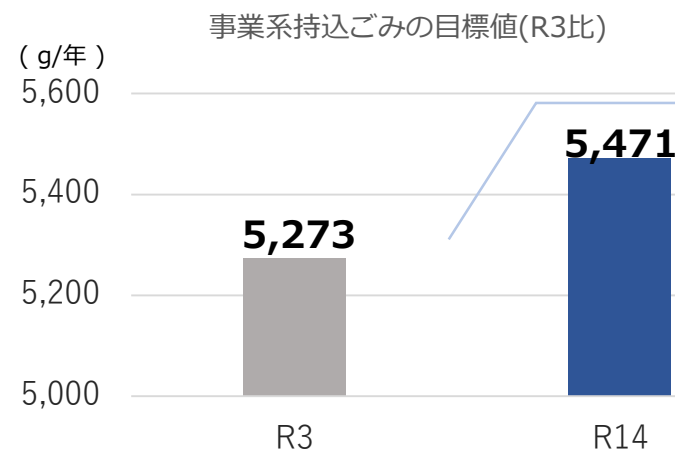
R14までの目標

1.ごみの発生抑制

①市民一人1日当たりの家庭ごみ排出量



②事業系持込ごみ年間排出量



コロナの影響で一時的に減少したことを踏まえ、影響が解消された後の反動を抑えるように設定。

③最終処分量の削減

東京たま広域資源循環組合の廃棄物減容(量)化基本計画で定められた配分量を遵守し、埋立処分量ゼロを維持する。

事業の改善・効率化によるコスト削減
(一般廃棄物処理に係る経費とその内訳のわかりやすい内容での周知)

2.ごみ処理・資源化の効率化とコスト抑制、環境負荷の低減

AGENDA

- 1 ごみ処理計画の整理
- 2 ごみ処理の現状について
- 3 ごみ処理の課題について
- 4 今後の施策展開

家庭ごみは可燃ごみが有料、事業系ごみは危険・有害ごみのみ無料

	家庭系ごみ	事業系ごみ
燃やすごみ	✓	✓
燃やさないごみ	✓	✓
危険・有害ごみ	✓	✓
びん	✓	✓
缶	✓	✓
古紙	✓	✓
古着	✓	✓
ペットボトル	✓	✓
プラスチック製容器包装	✓	✓

出典：ごみ便利帳ecoブック 令和6年度(2024年版), pp.10~24, 30より筆者作成

ごみの減量のキーワードは3R

Reduce

- ・ 製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。
 - 詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ。
 - 修理等のアフターサービスを充実して、長期使用促進に努める。

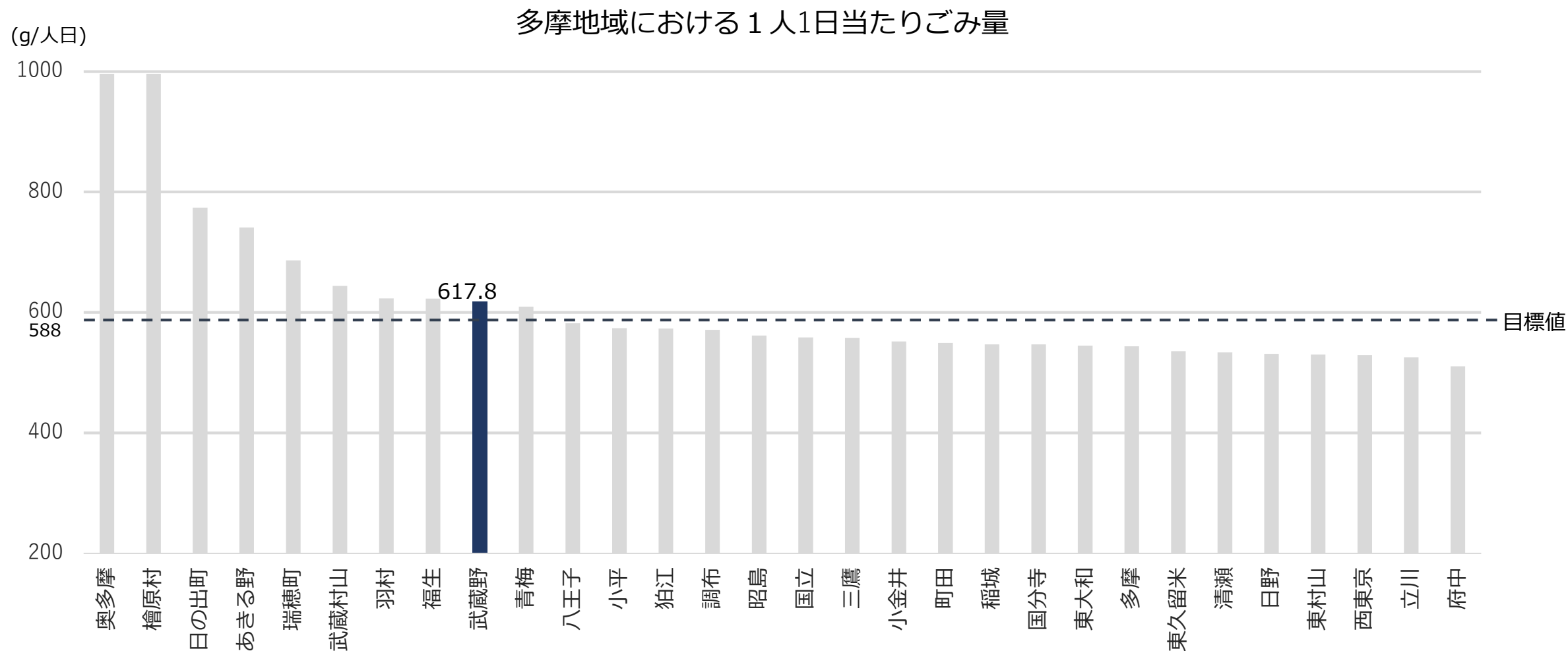
Reuse

- ・ 使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。
 - フリーマーケット等を活用し、不用品の再使用に努める。
 - 使用済製品、部品、容器を回収し、再使用する。

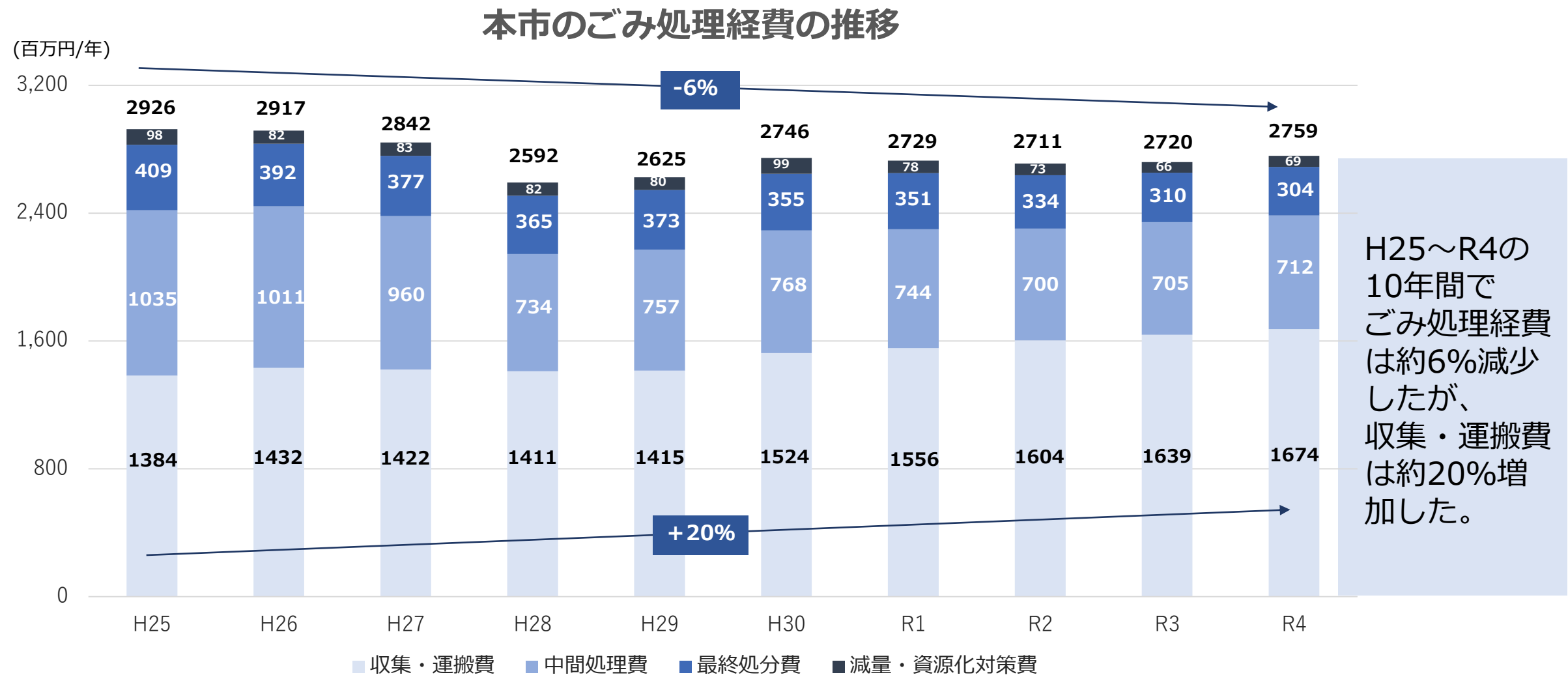
Recycle

- ・ 廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。
 - 資源ごみの分別回収に協力する。
 - 製品をつくる時に、できるだけリサイクル原材料を使う。

1人1日当たりのごみ排出量は、仮に目標588gを達成しても依然として高水準。



ごみ処理経費は、収集・運搬費をどこまで削減できるかがカギ。



出典：武蔵野市一般廃棄物処理基本計画【令和5年度～令和14年度】，p.8；事業概要(令和5年度版)，p.17 より筆者作成

AGENDA

- 1 ごみ処理計画の整理
- 2 ごみ処理の現状について
- 3 ごみ処理の課題について
- 4 今後の施策展開

廃棄物行政をとりまく多様な切り口をふまえた課題

考える視点

課題の内容

前計画の取組状況の視点

- ・ 予定された取組は実施済み。
- ・ 事業者との更なる連携が課題。

地球温暖化対策の視点

- ・ クリーンセンターでの焼却に伴うCO2の削減。

人口の推移の視点

- ・ 市内の人口増加に伴う、ごみ量増加への対応。

人口規模が類似した都市との比較からの視点

- ・ 中間処理費・最終処分費が関東圏の類似自治体より高い。

廃棄物行政の動向からの視点

- ・ プラスチックの収集・リサイクルに関する仕組みづくり。
- ・ 食品ロス削減への取組の強化。

国際潮流をふまえた視点

- ・ SGDｓを踏まえた取組の推進が必要。

AGENDA

- 1 ごみ処理計画の整理
- 2 ごみ処理の現状について
- 3 ごみ処理の課題について
- 4 今後の施策展開

課題を踏まえた、今後求められる取組

大項目	具体的な取組
1 ごみ・資源物の発生抑制・排出抑制	(1) 排出者責任に基づいたごみの減量 (2) 分別・リサイクルの推進 (3) 拠点回収・宅配便回収・集団回収 (4) ごみと資源物の取り扱いの適正化 (5) 事業系一般廃棄物の減量と資源化 (6) 食品ロスの削減
2 連携の推進	(1) 市民・市民団体、事業者、行政の連携
3 啓発の拡充	(1) 情報提供の推進 (2) 学習機会の提供 (3) 子どもへの環境教育 (4) 環境啓発施設の活用
4 ごみ処理の効率化	(1) ごみ収集・処理事業の効率化と環境負荷低減 (2) プラスチックの分別・収集・処理について
5 クリーンセンターの運営	(1) 処理施設の安全・安心・安定稼働 (2) エネルギー供給システムの利活用 (3) 広域連携の検討
6 最終処分場の有効活用	(1) 埋立処分量ゼロの維持 (2) エコセメント事業への支援
7 災害時の対応	(1) 災害時の体制整備 (2) 災害時のエネルギー供給

重点施策

重点施策

重点施策

Thank you for listening